



「個」を強くする大学。
We strengthen the individual.



明治大学
MEIJI UNIVERSITY

明治大学共創教育<リサーチ・ダイアログ>「学習による変容を可視化し、教育の新しい『型』を考える:リベラルアーツとしての市民性の創造」(第2部), 明治大学情報基盤本部,
明治大学リバティホール(東京), 2019年11月4日

明治大学共創教育<リサーチ・ダイアログ> 学習による変容を可視化し、教育の新しい『型』を考える ～リベラルアーツとしての市民性の創造～


主催: 明治大学情報基盤本部

企画: 明治大学共創教育ネットワーク

共催: 日本ESD学会、情報コミュニケーション学会、NPO法人 学習分析学会、アカデミック・コーチング学会、日本ビジネスコミュニケーション学会、芸術思考学会、ドラッカー学会、日本英語教育学会、次世代大学教育研究会、明治大学サービス創新研究所、早稲田大学情報教育研究所

後援: 明治大学情報基盤本部、(一社)日本オープンオンライン教育推進協議会

協力: 明治大学情報メディア部、デジタル・ナレッジ教育テクノロジー研究所、内田洋行教育総合研究所、学研教育総合研究所、AFP World Academic Archive、Asuka Academy、(株)コードタクト



【第1部】学習による変容を可視化する

- 13:00-13:05 (05')
 - 開会挨拶「明治大学共創教育ネットワークのビジョンと展開」
 - 阪井和男(明治大学)
- 13:05-13:25 (20')
 - 基調講演「教育インパクトによる意識的・非意識的変容の可視化」
 - 阪井和男(明治大学)
- 13:25-13:30 (05') <シェア & QA>
- 13:25-14:05 (40')
 - 招待講演「様々なビッグデータが暴き出す教育効果と行動様式」
 - 伊藤健二(明治学院大学 学長特別補佐(戦略担当) 産学連携プロデューサー)
- 14:05-14:10 (05') <シェア & QA>
- 14:10-14:45 (25') <フロア討論>
- 14:45-15:00 (15') <休憩>



【第2部】教育の新しい「型」を考える

- 15:00-15:10 (10')
 - 「『対話』が導くアクティブラーニング:市民性を創造する『対話』の機能とモデル」
 - 阪井和男(明治大学)
- 15:10-15:15 (05') <シェア&QA>
- 15:15-15:40 (25')
 - 「学びの舞台装置を開放する:教材をフレキシブルに共有するコンテンツ・コンテンツナの発想」
 - 渡邊純一((一社)ファーストスタープロジェクト)
- 15:40-15:45 (05') <シェア&QA>
- 15:45-16:10 (25')
 - 「協調学習をベースとする新時代のLearning Management System 'schoolTakt」
 - 後藤正樹((株)コードタクト・代表取締役)
- 16:10-16:15 (05') <シェア&QA>
- 16:15-16:25 (10') <休憩>



【第2部】教育の新しい「型」を考える

- 16:25-16:50 (25')
 - 「キャリア教育と専門教育をつなぐ:教育による『持続可能な社会』の実現に向けて」
 - 見上一幸(日本ESD学会理事/元宮城教育大学長)
- 16:50-16:55 (05') <シェア & QA>
- 16:55-17:05 (10')
 - 「アクティブラーニング事例紹介:十大学合同セミナー」
 - 加来賢一((株)クリエイティブ・リンク AFP World Academic Archive ディレクタ)
- 17:05-17:10 (05') <シェア & QA>
- 17:10-17:50 (40') <フロア討論>
- 17:50-18:00 (10') 閉会挨拶
 - 鎌田弘之(明治大学副学長・明治大学情報基盤本部長)



「個」を強くする大学。

We strengthen the individual.



明治大学

MEIJI UNIVERSITY

明治大学共創教育<リサーチ・ダイアログ>「学習による変容を可視化し、教育の新しい『型』を考える:リベラルアーツとしての市民性の創造」(第2部), 明治大学情報基盤本部, 明治大学リバティホール(東京), 2019年11月4日

[開会挨拶]

明治大学共創教育ネットワークの ビジョンと展開

Ver. 1.0 2019年11月4日

明治大学法学部・教授 阪井和男

明治大学情報基盤本部・副本部長



MEIJI
UNIVERSITY

明治大学共創教育ネ ットワーク構想



明治大学共創教育ネットワーク

- 明治大学は、
 - 広く社会との連携を広げて、
 - 学部生、院生、留学生、科目等履修生や社会人学生、そして生涯学習を提供しているリバティアカデミーの受講者などが
 - 社会に貢献できる多様な場、**社会と連携した能動的で主体的な深い学び**が生まれる場を、
- **共創教育ネットワーク**によって創り出します



明治大学共創教育ネットワーク

■ 共創教育ネットワークの明治大学モデル

現代的課題: プロジェクト／アクティビティ

□ 社会的アクティブ・ラーニング

- 明治大学学生・教職員、他大学、学会・研究会

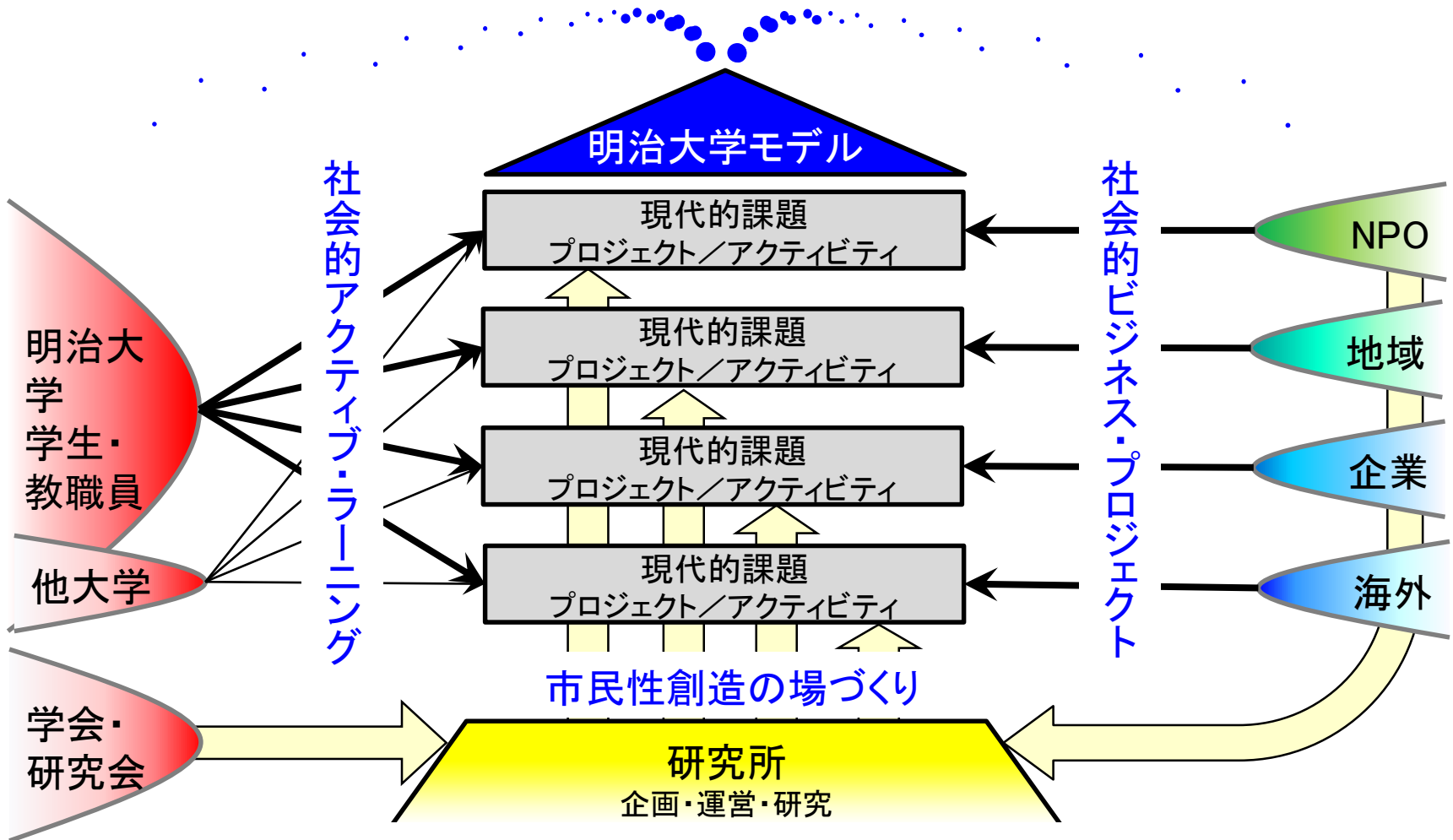
□ 社会的ビジネス・プロジェクト

- NPO、地域、企業、海外

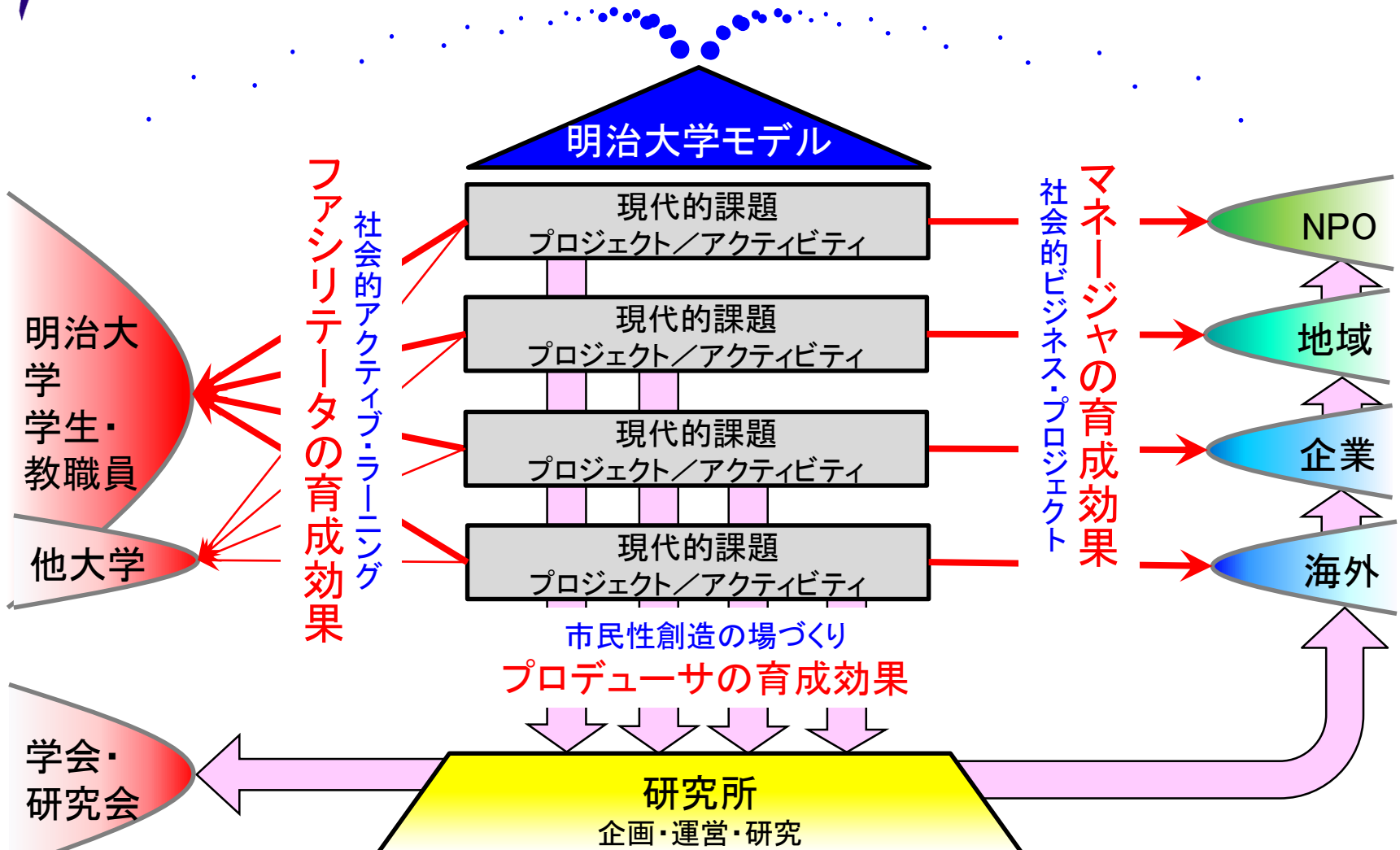
□ 市民性創造の場づくり

- 研究所(企画・運営・研究)

明治大学共創教育ネットワーク概念図



共創教育ネットワークでの人材育成



明治大学共創教育ネットワーク

(1) われわれのミッションは何か？

社会に貢献する自律的で
独創的な学生が排出される
トップ高等教育機関になること

(3) 顧客の価値
は何か？

・知的興奮が呼び
覚まされること
・市民性が創造さ
れること

(4) われわれの
成果は何か？

・明治大学がアク
ティブラーニング
の先進的な実践
拠点になり、
・世界中からアク
ティブラーニング
を学びに来ること

(5) われわれの
計画は何か？

(5) われわれの計画は何か？

・先進的な教育実践の拠点を
立ち上げ、
・多種多様な社会連携によっ
て明治大学の学生が学ぶ場
を世界に広げ、
・教育実践研究のイノベーショ
ン集積点をつくる

(2) われわれの顧客は誰か？

教育に希望をもつすべての人々

明治大学共創教育ネットワーク

(1) われわれのミッションは何か？

リベラルアーツ
としての「市民性の創造」

(3) 顧客の価値
は何か？

自律的・共生的
な「対話」によっ
て一人ひとりの
「命が輝く」こと

(4) われわれの成果
は何か？

[1]自律性と共生性
の向上を目指した
対話的な場づくり
[2]教育ノウハウと
教材コンテンツの
オープンな共有化

(5) われわれの計
画は何か？

(2) われわれの顧客は誰か？

教育の場に参加するすべての人
(学生と社会人、地域の子どもたち等)

(5) われわれの計画は何か？

[第2部]

- ・ハイブリッド講座の公開
リベラルアーツ講座の開
発とeラーニング(JMOOC)
での公開
- ・ハイブリッド講座の共有
講座開発プロセスで埋め
込まれた教育ノウハウ・教
材コンテンツのデジタルコ
ンテナによる教員間共有
- ・ハイブリッド講座の構築
インストラクショナル・デ
ザイン(教授設計学)にも
とづく関心の焦点化
対話(ダイアログ)によ
る自己の振返りと他者との
振返りの埋込みと実践



2019実施計画

- 目的
 - 本気になって頭を使い倒す「リベラルアーツ」を実施する
- 3つの工夫
 - 本気になる工夫
 - インストラクショナル・デザインによるテーマの焦点化
 - アクティブ・ラーニングによる対話的状況での自律化・共生化
 - フィードバックによる個人的経験の外化・意味化
 - 教育効果測定による意識的・非意識的な態度変容の可視化
 - 共有する工夫
 - デジタルコンテナによる教材・構成方法の共有化・再利用可能性の担保
 - 普及する工夫
 - e-Learningによる質の高いサンプル講座の制作と公開(JMOOC講座)
 - デジタルコンテナによる教材等の共有と公開(検討組織を組織中)
 - セミナー開催による広報・情報交換(2019年11月4日、23日)

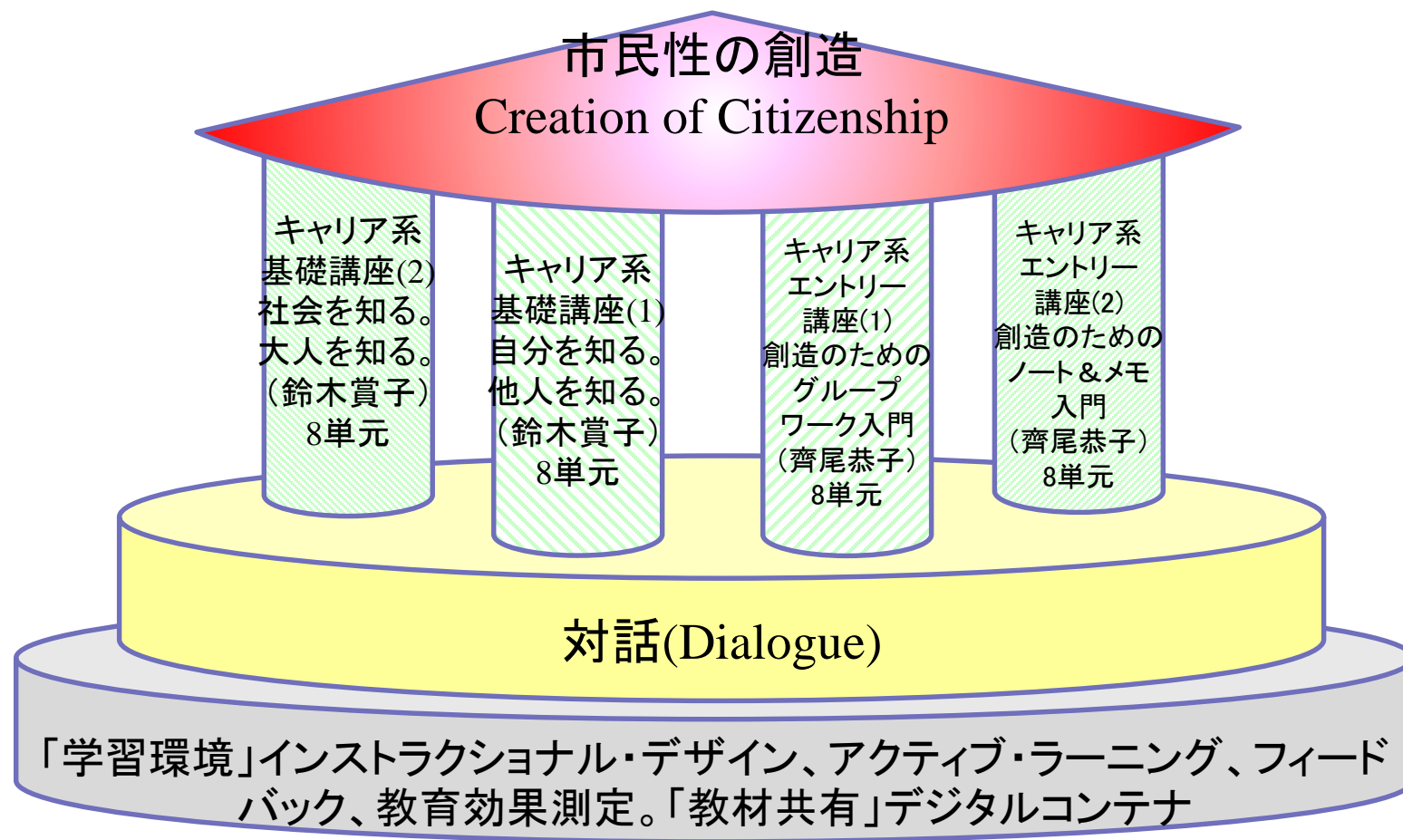


リベラルアーツ講座

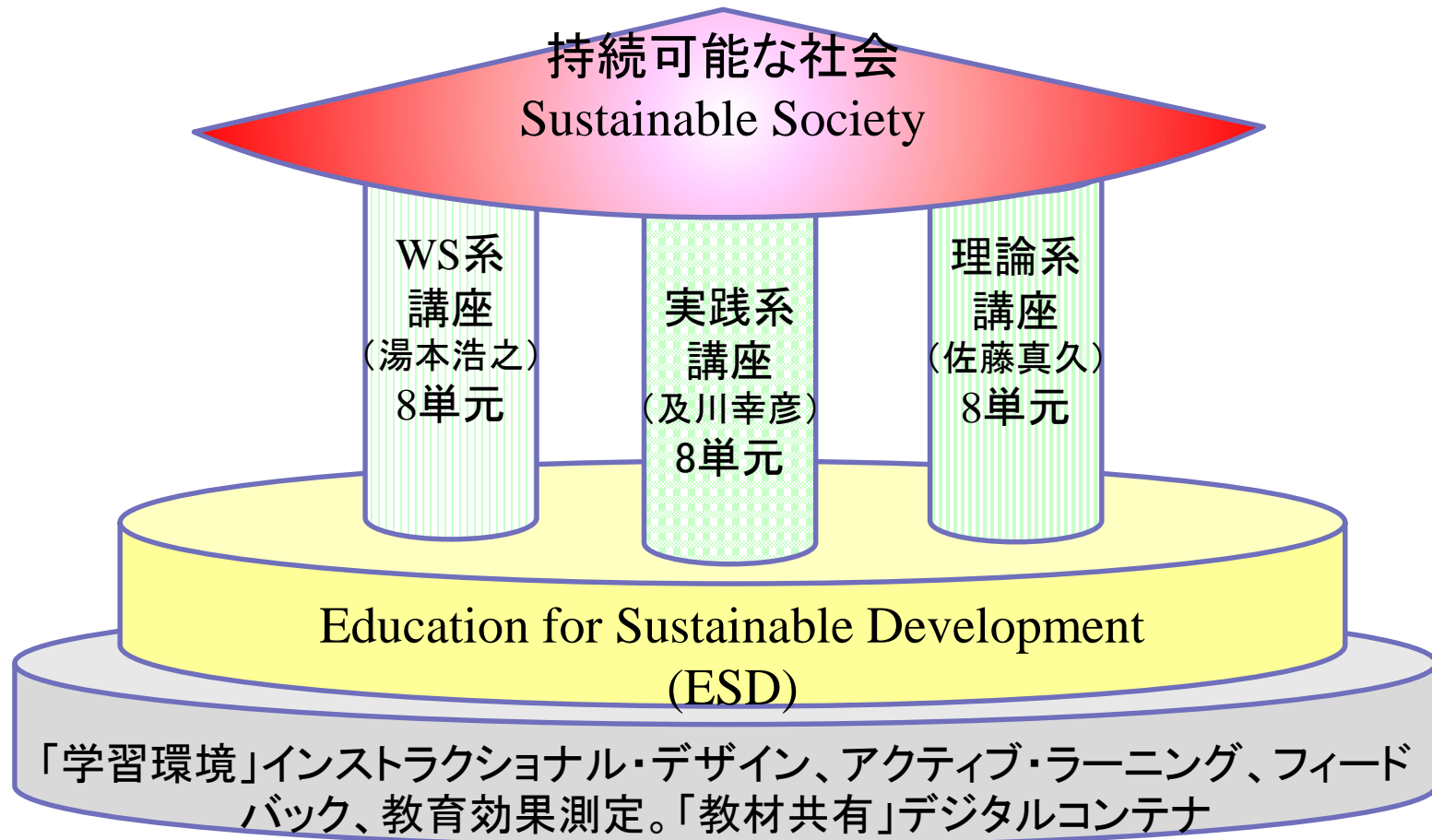
- **キャリア教育** ←エクスターンシップ実践の経験から
 - 不本意入学学生を本気にさせる「キャリア系エントリー講座」(齊尾恭子)
 - 社会と本気で向き合える態度を育む「キャリア系基礎講座」(鈴木賞子)
- 市民性の創造
 - 共生的な社会的態度の育成
- **SDGs教育** ←ESD*学会との連携によって
 - SDGsによるキャリア教育と専門教育との橋渡し
 - 「理論系講座」(佐藤真久) / 「実践系講座」(及川幸彦) / WS系講座(湯本浩之)
- 持続可能な社会
 - SDGs時代の人づくり・社会づくり

*ESD: Education for Sustainable Development

共生的な社会的態度の育成



SDGs時代の人づくり・社会づくり





学習環境と教材共有

- 学びのデザインによる「学習環境」
 - インストラクショナル・デザイン(ID)による講座構成
 - 対話的状況の設定によるアクティブ・ラーニング(AL)実践
 - ドラッカーのフィードバック(FB)による体験学習の定着
 - 意識的・非意識的な態度変容からみる教育効果測定
- デジタルコンテナによる「教材共有」
 - ハイブリッド講座(HL)制作システムの試行

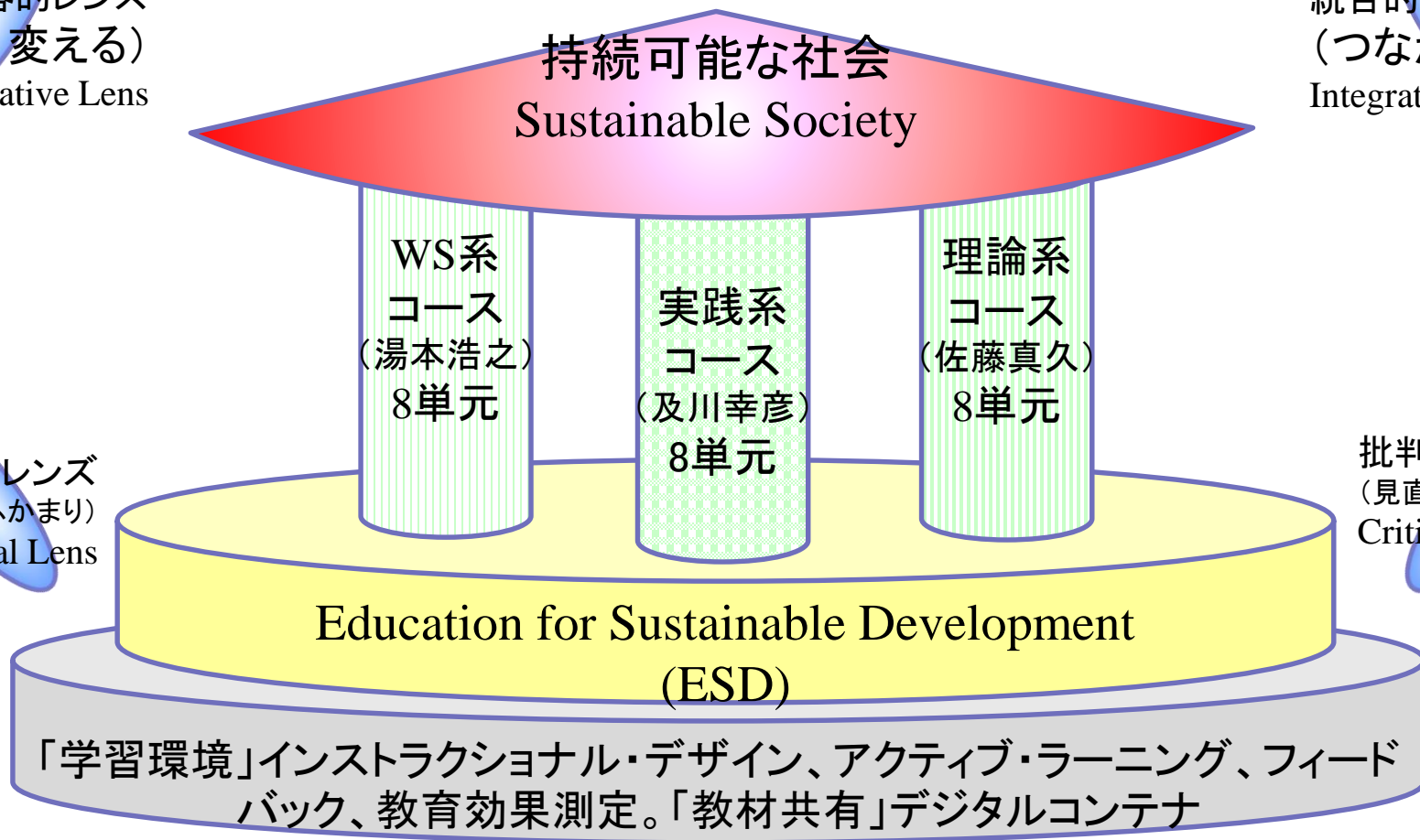
SDGs時代の人づくり・社会づくり

変容的レンズ
(変わる・変える)
Transformative Lens

統合的レンズ
(つながり・かか
Integrative Lens

文脈的レンズ
(ひろがり・ふかまり)
Contextual Lens

批判的レンズ
(見直し・捉え直し)
Critical Lens





フィードバックのための4つのレンズ

- 社会から見る4つのレンズ(UNESCO 2012)
 1. 統合的レンズ(つながり・かかわり)
Integrative Lens: 課題・資源・時間・空間・人をつなげる、関連づけ
 2. 文脈的レンズ(ひろがり・ふかまり)
Contextual Lens: 身近な文脈(歴史や地域)、地域・世界の文脈
 3. 批判的レンズ(見直し・捉え直し)
Critical Lens: 課題再設定・捉えなおし、意味づけ・学びほぐし
 4. 変容的レンズ(変わる・変える)
Transformative Lens: 個人・組織・社会の変容
=>刷新(Innovation)

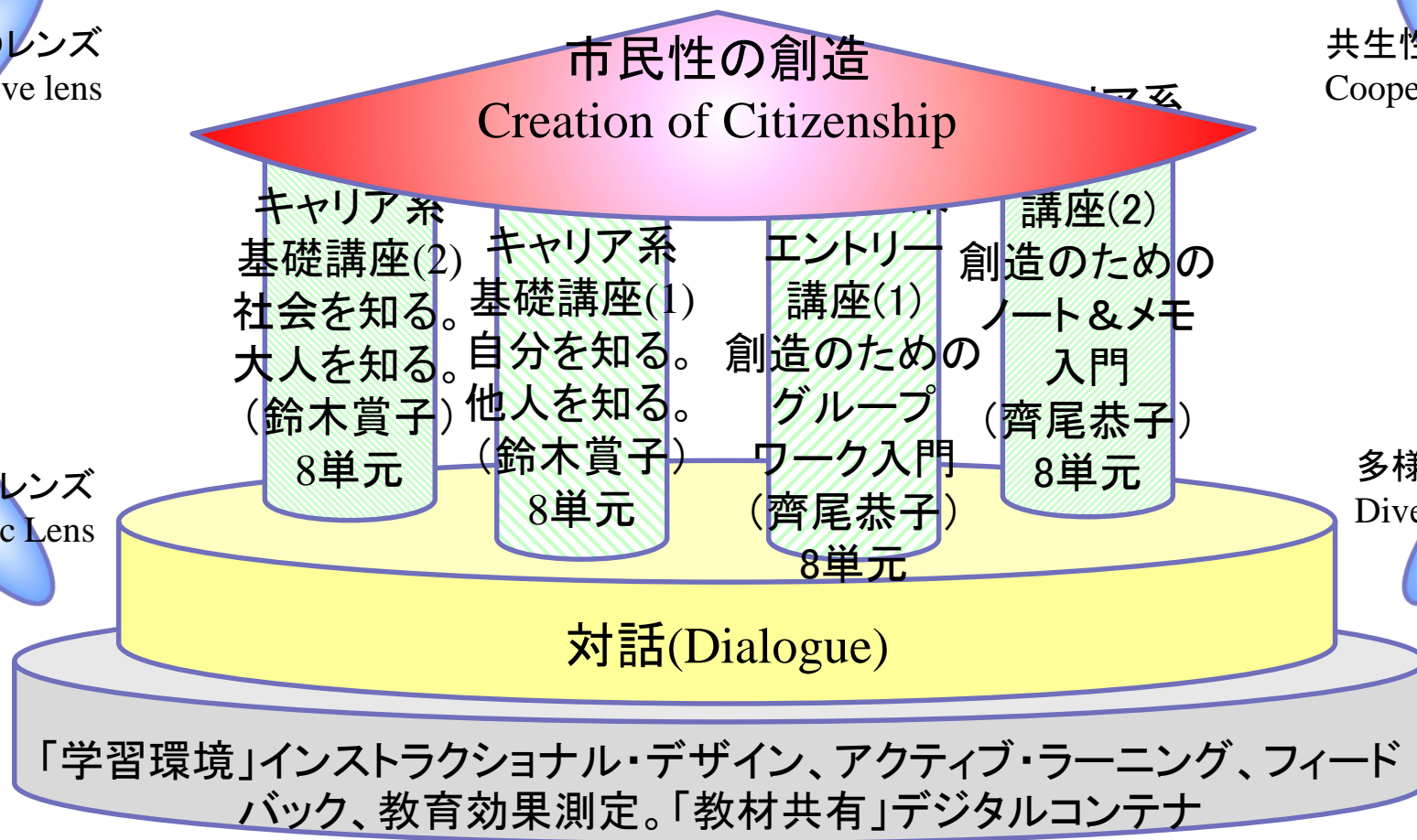
共生的な社会的態度の育成

包摂性のレンズ
Inclusive lens

共生性のレンズ
Cooperative Lens

自律性のレンズ
Autonomic Lens

多様性のレンズ
Diversity Lens





フィードバックのための4つのレンズ

- 個人から見る4つのレンズ
 1. 共生性のレンズ: Cooperative Lens
 2. 自律性のレンズ: Autonomic Lens
 3. 包摂性のレンズ: Inclusive Lens
 4. 多様性のレンズ: Diversity Lens



「個」を強くする大学。
We strengthen the individual.



明治大学
MEIJI UNIVERSITY

明治大学共創教育<リサーチ・ダイアログ>「学習による変容を可視化し、教育の新しい『型』を考える:リベラルアーツとしての市民性の創造」(第2部), 明治大学情報基盤本部, 明治大学リバティホール(東京), 2019年11月4日

[第1部]

学習による変容を可視化する


主催: 明治大学情報基盤本部

企画: 明治大学共創教育ネットワーク

共催: 日本ESD学会、情報コミュニケーション学会、NPO法人 学習分析学会、アカデミック・コーチング学会、日本ビジネスコミュニケーション学会、芸術思考学会、ドラッカー学会、日本英語教育学会、次世代大学教育研究会、明治大学サービス創新研究所、早稲田大学情報教育研究所

後援: 明治大学情報基盤本部、(一社)日本オープンオンライン教育推進協議会

協力: 明治大学情報メディア部、デジタル・ナレッジ教育テクノロジー研究所、内田洋行教育総合研究所、学研教育総合研究所、AFP World Academic Archive、Asuka Academy、(株)コードタクト



【第1部】学習による変容を可視化する

- 13:00-13:05 (05')
 - 開会挨拶「明治大学共創教育ネットワークのビジョンと展開」
 - 阪井和男(明治大学)
- 13:05-13:25 (20')
 - 基調講演「教育インパクトによる意識的・非意識的変容の可視化」
 - 阪井和男(明治大学)
- 13:25-13:30 (05') <シェア & QA>
- 13:25-14:05 (40')
 - 招待講演「様々なビッグデータが暴き出す教育効果と行動様式」
 - 伊藤健二(明治学院大学 学長特別補佐(戦略担当) 産学連携プロデューサー)
- 14:05-14:10 (05') <シェア & QA>
- 14:10-14:45 (25') <フロア討論>
- 14:45-15:00 (15') <休憩>



「個」を強くする大学。
We strengthen the individual.



明治大学
MEIJI UNIVERSITY

明治大学共創教育<リサーチ・ダイアログ>「学習による変容を可視化し、教育の新しい『型』を考える:リベラルアーツとしての市民性の創造」(第2部), 明治大学情報基盤本部, 明治大学リバティホール(東京), 2019年11月4日

[第2部]

教育の新しい「型」を考える

主催: 明治大学情報基盤本部

企画: 明治大学共創教育ネットワーク

共催: 日本ESD学会、情報コミュニケーション学会、NPO法人 学習分析学会、アカデミック・コーチング学会、日本ビジネスコミュニケーション学会、芸術思考学会、ドラッカー学会、日本英語教育学会、次世代大学教育研究会、明治大学サービス創新研究所、早稲田大学情報教育研究所

後援: 明治大学情報基盤本部、(一社)日本オープンオンライン教育推進協議会

協力: 明治大学情報メディア部、デジタル・ナレッジ教育テクノロジー研究所、内田洋行教育総合研究所、学研教育総合研究所、AFP World Academic Archive、Asuka Academy、(株)コードタクト



【第2部】教育の新しい「型」を考える

- 15:00-15:10 (10')
 - 「『対話』が導くアクティブラーニング:市民性を創造する『対話』の機能とモデル」
 - 阪井和男(明治大学)
- 15:10-15:15 (05') <シェア&QA>
- 15:15-15:40 (25')
 - 「学びの舞台装置を開放する:教材をフレキシブルに共有するコンテンツ・コンテンツナの発想」
 - 渡邊純一((一社)ファーストスタープロジェクト)
- 15:40-15:45 (05') <シェア&QA>
- 15:45-16:10 (25')
 - 「協調学習をベースとする新時代のLearning Management System 'schoolTakt」
 - 後藤正樹((株)コードタクト・代表取締役)
- 16:10-16:15 (05') <シェア&QA>
- 16:15-16:25 (10') <休憩>



【第2部】教育の新しい「型」を考える

- 16:25-16:50 (25')
 - 「キャリア教育と専門教育をつなぐ:教育による『持続可能な社会』の実現に向けて」
 - 見上一幸(日本ESD学会理事/元宮城教育大学長)
- 16:50-16:55 (05') <シェア & QA>
- 16:55-17:05 (10')
 - 「アクティブラーニング事例紹介:十大学合同セミナー」
 - 加来賢一((株)クリエイティブ・リンク AFP World Academic Archive ディレクタ)
- 17:05-17:10 (05') <シェア & QA>
- 17:10-17:50 (40') <フロア討論>
- 17:50-18:00 (10') 閉会挨拶
 - 鎌田弘之(明治大学副学長・明治大学情報基盤本部長)